



|        |         |      |    |
|--------|---------|------|----|
| 新村     | 人口      | ・世帯数 | 現在 |
| 令和 4 年 | 7 月 1 日 |      |    |
| 世帯数    | 1,326   | 戸    | 人  |
| 男女     | 1,525   | 人    | 人  |
| 合 計    | 1,636   | 人    | 人  |
|        | 3,161   |      |    |

### 地域間交流 「野麦街道をゆく」

6月18日、松本大学地域づくり考房「ゆめ」企画のバスハイクが実施されました。参加者は36名（学生13名、地域住民16名、教職員7名）で、松本市奈川地区を訪れました。奈川地区はそば産業が盛んな地域で、過去に工女が往来した歴史があります。



道中、風穴といわれる山の岩から冷風が吹き出す場所や、工女が派遣されていた時代の道具などが展示されていた。安曇野資料館に立ち寄り、古いレコードなどが展示されており、学生は目新しさを、地域の方々は懐かしさを感じていました。その後、お食事処「ウッド・イモック」に移動し、ふきや山椒の茎などの山菜がふんだんに添えられたそば、ほおば寿司をいただきました。食事を楽しんだ後は、移住希望者が滞在して農業を体験できる「クラインガルテン」に移動をして、併設されている学習用の施設で奈川地区の取り組み、加えて野麦峠と奈川地区の歴史に



ついて講演を聞きました。奈川地区の時代背景から、工女たちの意識調査まで、様々な内容について語られました。最後に、新村地区の取り組み、松本大学地域づくり考房「ゆめ」の茶房「ひといき」についても説明が行われ、両地区の交流は終了しました。奈川地区の道の駅「ながわ山菜館」に移動し、学生と地域の方々が和気あいあいと買い物を楽しみました。今回の旅を通して、今回2つの地域が繋がり、学生と地域住民にも深い繋がりが出来ました。地域住民にとっても、学生にとっても、充実したバスハイクとなりました。

この四月より、芝沢小学校長として着任して参りました赤羽秀明と申します。自然豊かで教育熱心なこの地に赴任できましたこと、大変光栄に思っております。毎朝校門前で子どもたちが挨拶をしている際、通るかかる地区の皆様が「おはようございます」「ご苦労様です」と声がけしてくださり、元気をいただいています。また、先日行われた運動会では、朝早くから地区の皆様が子どもたちの暑さ対策の為にテントを立ててくださいました。改めてこの地区の学校にかける強い思いを感じる事ができました。依然コロナが収束しておらず、感染対策を講じながらの学校活動が続きますが、地区の皆様と一緒に子どもたちにとって「安全・安心の学校」を目指していきたく思います。どうぞ宜しくお願いいたします。



芝沢小学校長 赤羽 秀明

### 着任のあいさつ

譲ってあげたら、その対向車の後ろのドライバースさんが、自分道に譲ってくれた。朝から気分が良く、こんなこともあるものかと思つた▼気分が良くと言えば、数年前あるお寺に行く機会があり、そこでご住職の奥さんに出会って、「座禅会をやっています、良かつたら参加しませんか」とお誘いを受けた▼そこで通い始めてみると、初めての体験であったが、堅苦しいこともなく気さくな人達ばかりで、そこに行くのが楽しみになった▼座禅会のお茶の時間には手作りのお漬物が出たり、方言が飛び交う会話の中にも知らない事が沢山出てきたり、そのひと時が自分の日々の嫌なことやストレスを忘れさせてくれる場になり、そこに行くことで、気持ちのよい一日が過ごせている。

### 八束穂

先日、あるお店で買い物をした時に、レジの店員さんの対応がとても親切で気分が良くなった▼また、ある朝の通勤時に対向車に道を譲ってあげたら、その対向車の後ろのドライバースさんが、自分道に譲ってくれた。朝から気分が良く、こんなこともあるものかと思つた▼気分が良くと言えば、数年前あるお寺に行く機会があり、そこでご住職の奥さんに出会って、「座禅会をやっています、良かつたら参加しませんか」とお誘いを受けた▼そこで通い始めてみると、初めての体験であったが、堅苦しいこともなく気さくな人達ばかりで、そこに行くのが楽しみになった▼座禅会のお茶の時間には手作りのお漬物が出たり、方言が飛び交う会話の中にも知らない事が沢山出てきたり、そのひと時が自分の日々の嫌なことやストレスを忘れさせてくれる場になり、そこに行くことで、気持ちのよい一日が過ごせている。

講座「新村について考える」シリーズ始まる

今年3月発行の地域学習テキスト「あたらしの郷」を読み合わせ「新村について考える」講座が、6月23日に18名の参加の下、開催されました。今回のテーマは、新村地区の「概要と自然」でした。

最初に、関通喜編集委員長が、最近の気候変動は予測不能な災害を各所に起こし、昨年8月の長雨は梓川両岸の堤防が決壊寸前だったとの話をされました。

地区の概要では、丸山盛榮委員が、新村の発足経緯や役場の設置、人口の変化などを、時代背景や経済動向などと関連させ、お話されました。

根橋信水委員からは、水田などの生物相や、畦畔などの植物相の変化は、人為的で、農業使用や草刈り機使用の影響であるとお話でした。



熱心に耳を傾ける

この講座は、毎月第4週の土曜日午前10時から開催で11月まで続きます。編集委員がテーマ毎に講師を務めます。奮ってご参加ください。

ものぐさ大学

寒天から健康について学ぶ

6月30日、ものぐさ大学・大人の社会見学では、参加者22名で伊那市の「かんでんぱガーデン」を訪れました。



整然とした生産ライン

まず目に触れたのは豊かな自然林の中、苔が群生し季節の花が咲き誇る広大な庭園でした。「働く社員のために緑のある快適な職場環境を」との願いから造られた手作りのガーデンは、毎朝社員全員で自発的に手入れを行っているとお聞きしました。「苔は落葉を除いてあげないと育たないのでありますが、みんなの力でここまで苔の庭ができました」というスタッフの方のお話が印象に残りました。健康パビリオンでは管理栄養士の方か

ら食生活や健康の知識、寒天を食材として健康に役立てることなどのレクチャーを受け、その後工場やボタニカルアート(植物細密画)の美術館を見学し、自然と文化が調和した、人に優しい環境のすばらしさを知ることができました。

暑い一日ではありましたが、高台のロビーからは、南アルプスの山々が一望でき、心休まる時間を過ごすことができました。

おでかけウォーキング

6月22日、6名で神林、笹賀地区を歩きました。

神林地区では、長久寺、福應寺を訪ねました。福應寺では住職に寺の縁起や味噌、醤油、尺八等を宋から伝えた法燈国師(鎌倉時代)のお話を聞きました。

午後は柏木古墳跡、スカイパークのバラ園を散策して帰路に着きました。



本尊拝み 住職のお話を聞く

筆の運びもなめらかに

6月14日、4回目になる写経会が専称寺にて行われました。

参加者15名は「一枚起請文」を写経しました。

慌しい日々を忘れ、1時間ほどの静寂を感じました



一筆一筆 心静かに

夏越の大祓、茅の輪くぐり

小野神社において6月12日「夏越の大祓」の神事が行われ、鳥居に茅の輪が飾られました。

松本地区で茅の輪が飾られている神社は少数。新村では岩崎神社でも設置されていました。「頭をたれてくぐれる

位の大きな方が謙虚になれてよい」と森井宮司はおっしゃっていました。



氏子総代により茅で編まれた輪

オープン大会

7月3日、芝沢体育館で3年ぶりにオープン大会が開催されました。競技種目はワンバウンドふらばーボールで、参加チーム数に制限を設けて、感染症対策を行った上での開催となりました。早くも梅雨明けが発表され、6月末からの猛暑で熱中症も心配されましたが、幸いなことに当日は暑さも一息ついて、選手たちもほっとした様子でした。町会が参加しました。好プレーには大きな拍手、珍プレーには笑い声が起こり、コロナ禍以前の大会と同様の熱戦が繰り広げられました。



ワン・ツー・スリー! 相手コートへ!

新館報編集委員紹介



今年度 編集委員 員貴 より館報 編集委員 新編 瀬 として委 嘱されま

した廣瀬康貴です。出身は富山県魚津市です。新村のことは知らないことだらけですが、活動を通して自分自身の学びも得られる取り組み方をしていきます。よろしくお願ひします。